

第2回 上田地域の「健康づくり×観光」を考える懇談会 概要

- 1 日 時 平成30年2月28日(水) 13:30~15:20
- 2 場 所 上田合同庁舎南棟2階会議室
- 3 参加者 計14名 …裏面「参集者名簿」参照
【内訳】民間事業者等10名(欠席無し)及び振興局4名
- 4 懇談内容、主な意見等

(1) 各地の取組について

《鹿教湯温泉》

- ポールウォーキングに力を入れている。普段、気軽に出かけることが難しい高齢者には、ヘルスツーリズム的ツアーの満足度は大変高い。
ツアーに運動関連事業者が添乗すれば、何か付加価値を付けられるのではないか。
- ヘルス(健康)が前に出過ぎてしまうと、他の事に興味がある人からは「運動は苦手だから止めておこう」と引かれてしまう。

《別所温泉》

- 4年前ほどから旅館の若旦那を中心に、ノルディックウォーキングの指導員資格を取得し、宿泊客に温泉の中を観光案内している。
ウォーキングに温泉や歴史を組み合わせると良い。
- 別所温泉は塩田平をもっと売っていくべき。PR不足。
「塩田平 札所巡り」は、実際に体験したら本当に良かった。知らないまま体験しないまま、客に案内することも多く、もっと知ることが必要。
県外からの参加者がとても多いので、宿泊と絡めると良い。

《菅平高原》

- 夏と冬に偏って客が来るので、宿泊施設は期間雇用者を雇う。
頻繁にスタッフが変わり、ホスピタリティに差が生まれてしまう。

《長和町(ペンション)》

- 県の支援金を利用して「女将の会」を立ち上げ、料理の研究をした結果、評価が上がった。

(2) 今後の進め方について

【協議会の役割・スケジュール・構成員等を、別添資料により事務局構想案として紹介】

- 上田地域の観光資源はエリア毎に特色がある。色をしっかりと出して上手にゾーニングし、地域連携しながら、更に磨き上げを図れば良いものができる。
- 売り手と買い手のミスマッチをどう解消するかが大切。
売り手の都合だけでなく、相手(観光客)に響く提供・PRを行うためにも、参加者同士、買い手目線で指摘し合う本日のような会議は有効だ。
- 会議の方式は、机上の検討でなく具体的実践に繋がるよう、住民参加型・対話型で、未来指向のワークショップ形式が良い。
若者(大学生・高校生)や消費者もメンバーに加えると良い。
- 協議会の名称はそれだけで情報発信になるので、普通に「ヘルスツーリズム推進協議会」ではなく、興味を持って貰えるよう工夫した方が良い。